

特集

2014年の国試に向けてできること

本学国家試験支援室から見た今後の国家試験対策で大切なこと 三井明美

学生への対応の悩みをふまえたわが校の国試対策 津波正枝／佐々木陽子

3年間を通したわが校の国試対策 上田幸恵／井上真央

今後の看護師国家試験に向けた本学国家試験対策委員会の取り組み 新道由記子

102回看護師国家試験の東京アカデミーのデータ分析

——教員ができる国試対策へのヒント 前川玉緒

【新連載】

ひろがる災害医療と看護 身につけておくべき知識とスキル・1 小井土雄一

【連載】

看護実践力を育む教育方法の開発 日本赤十字広島看護大学の試み・2 川西美佐

臨地実習指導者の役割・3(最終回) 山田聡子, 太田勝正

看護学校管理・運営のための12のポイント・6 江川万千代

看護教育に協同学習法を取り入れる・6 緒方巧

我らカルガモ! 育児学生日記・9 鳴島美智子

看護はやっぱり面白い!? アラフォー女子大生の「看護」探求の日々・9 片山紀子

Mail From USA ——『JNE』を読み、世界の看護教育の流れを知る・53 神谷英美子

編集後記

◎編集室ツイッター <http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

●6月1, 2日に仙台で開かれた大学教育学会第35回大会に行ってきました。テーマは「教育から学習への転換」。大学教育に関わるさまざまな発表を聞いて確信したことがあります。それは、大学教育(高等教育)において「協同学習」を取り入れるのは、既に当たり前になっているということです。●もともと幼少教育時代から協同学習になじんでいた子どもたちならば、敢て大学教育でそれを強調しなくても、自然と自ら学び始めるものです。けれども、高校までの間、「ゆとり」のない詰め込み教育をされてきた子どもたちが、高等教育機関で自ら学習するようになるには、大学(学校)の指導が欠かせません。ここに協同学習導入の必要性があるわけです。比較的職業モチベーションの高い看護学生ならば、より効果が期待されます。ぜひ、皆さんも取り組んでいただければと願っています。…大野

●院生時代、新設のPT・OT学科でTAをしていました。人体構造学の授業で、8名ほどのグループに一体ずつ用意された骨標本をスケッチするという内容です。机間巡視をしながら学生の様子を観察し、質問に答えたり、集中できていない学生に働きかけたりするのがTAの仕事でした。当初は様子見がちだった学生も、学期が進むに連れて慣れてきて、グループにも特徴が出てきます。個人で黙々とスケッチを進めるグループもあれば、煩いくらいにおしゃべりなグループもありました。●個々の学生を見るのに精一杯だった当時の自分に、もし今回の特集の知識があれば、彼らが協同する集団になる手助けができたかもしれません。少なくとも、Aさんが鉛筆を削っただけで終了時刻を迎えることもなければ、B君が上腕骨と間違えて脛骨を描き続けることもなかっただろうな、と思うのです。…加藤

看護教育 第54巻 第8号 2013年8月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan

1部定価2,205円(本体2,100円+税5%) 2013年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子のみ16,250円, 冊子+電子版(個人)19,250円, 冊子+電子版(共有)21,700円, 電子版/個人16,250円,

電子版/共有18,800円(いずれも税込, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyoku@igaku-shoin.co.jp 担当: 加藤・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/13/¥250/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

Vol.54 No.7

2013年7月
特集

スマホ時代のリスク管理—— 情報リテラシーを育みトラブルを防ぐ

情報通信技術(ICT)は目まぐるしい速さで進歩を続け、学生を取り巻く環境は劇的に変化しています。例えば、若者を中心に広がりを見せるSNSでは、一個人が発信した言葉や写真などが一瞬にして全世界から閲覧可能になります。適切に利用すると大変有益なこの技術ですが、少し使い方を誤ると深刻な事態に発展する危険を孕んでいます。

特に看護学生という身分であれば、差別や偏見を思わせる言動に対する社会の目は非常に厳しく、また、実習先で知り得た個人情報の取り扱いにも大きな責任が伴います。電子カルテの導入により、簡単に大量の個人情報にアクセスし得る状況が生まれていることも、便利な反面で情報にまつわるリスクを増大させる一因になっています。

本特集では、トラブルを未然に防ぎ、ICTの適切な活用を促すために、看護基礎教育で教えるべき情報リテラシーを取り上げます。現代特有の問題に焦点を当てて、また法律の視点も含めて状況を整理することで、情報に対する学生の意識を高める教育について共に考えることができればと思います。

- 基礎教育で教えなければならない情報リテラシー……………中山和弘
- 病院の情報セキュリティと学生への教育・指導……………美代賢吾
- 実生活のアナロジーでSNSを知る……………前田樹海
- 法律家から見た情報にまつわるリスク管理——看護学生に伝えるべきこと……………小池良輔



Vol.54 No.6

2013年6月
特集

クリティカルシンキングは 終わらない

20世紀末に本格的に日本に入ってきたクリティカルシンキングの概念ですが、なぜか、その後10年ほどあまり耳にする機会がなくなっています。看護界においても同様で、一時は教育・管理の分野で注目を集めました。現在はあまり言及されることがありません。

ベナーやカルベニートら看護理論家たちは、最近の著書でもその重要性を認めています。日々「問題」を解決していかなくてはならない看護師にとって、クリティカルシンキングの重要性は増しこそすれ、減じているとは思われません。なのに、この状況はどうなのでしょう？

今回の特集は、なぜクリティカルシンキングは最近人口に膾炙しないのかを考えようとして、看護および教育における重要性を改めて認識していただくことを目的に組まれるものです。読者の皆さんに、日々の現場にクリティカルシンキングを取り入れていただくために、具体的な教育への取り組みも多く紹介します。

クリティカルシンキングは、教員・学生に関係なく、今を生きる人間にとって必須であることを再認識していただければと願っています。

- クリティカルシンキングのわが国の看護教育における浸透と課題——クリティカルシンキングを看護教員が身につける方策について……………野地有子
- 授業にクリティカルシンキングを導入することとは……………久保田祐歌
- 看護におけるクリティカルシンキングの重要性……………塚本尚子・船木由香
- 現在の教育状況のなかにクリティカルシンキングをどのように取り入れてゆけばよいのか……………高島尚美
- クリティカルシンキングの基礎の教え方……………三森ゆりか
- コーチングと比較して考えるクリティカルシンキングの重要性……………坪田康佑



【2013年5月号(Vol.54 No.5)】

「狙い」に合わせた
シミュレーション教育の方法

【2013年2月号(Vol.54 No.2)】

基礎看護学を再構築する・2

看護の「基礎」を教えるとは？

【2013年4月号(Vol.54 No.4)】

授業設計入門

【2013年1月号(Vol.54 No.1)】

基礎看護学を再構成する・1

看護の「基礎」とは何か？

【2013年3月号(Vol.54 No.3)】

看護師国家試験
合格率100%の秘密

【2012年12月号(Vol.54 No.12)】

“特定能力”をもつ看護師の
新たな役割とその人材育成

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2011年6月号(Vol. 52, No.6)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.toabook.com/>)
- 2011年7月号(Vol. 52, No.7)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)をお願いします。